

2月17日
取次搬入予定

詩集 『美しい街』 著者 尾形亀之助 絵 松本竣介

みんな大好き、孤高の尾形亀之助。その美しい選詩集。

「あまり夜が更けると

私は電灯を消しそびれてしまう

そして 机の上の水仙を見ていることがある」（「白(仮題)」より）

荒川洋治。堀江敏幸。池内紀。いがらしみきお。荻原魚雷。能町みね子。
多くの作家たちが尾形亀之助の詩について書き、話しています。その詩は
淋しくて、凜として、ユーモラスで、ときに天才的です。

本書はなかなか手に入りにくかった亀之助の著作を、同時代に夭逝した画家
松本竣介のデッサンとともに再構成したものです。巻末には能町みね子さん
の書き下ろしエッセイを収録しています。「いま私が生活を見つめる目は亀
之助から授かったもののように思っている」と寄せて下さった能町さんの3
千字の文章も本作の目玉です。尾形亀之助は1900年生まれ。42年に亡くな
っています。ずっと読み継がれる作品だと思います。造本もとてもきれいです。

価格：1600+税 / 176頁（四六変形 / ハードカバー）

ISBN 978-4-904816-22-6 C0092

取次：JRC（すべての取次からの搬入が可能です）

ご注文は JRCへ FAX：03-3294-2177

電話：03-5283-2230

発行 株式会社 夏葉社 TEL/FAX 0422-20-0480 東京都武蔵野市吉祥寺北町1-5-10-106

美しい街

尾形亀之助 著

発行 夏葉社 ISBN 978-4-904816-22-6 C0092 本体一六〇〇円+税

ご担当者様

冊

貴店番線印

尾形亀之助 著
松本竣介 画

美しい街

